



令和元年 5 月 8 日

資料提供先：倉吉記者クラブ

## 伊勢湾台風のパネル展を開催します

～あれから60年「伊勢湾台風の爪痕」パネル展を開催します～

昭和34年9月、我が国を襲った伊勢湾台風は、この天神川流域にも猛威をふるい、大きな被害をもたらしました。近年の気象状況は大きく変化し、水害危険度は増しています。

天神川流域会議では、伊勢湾台風から60年にあたる今年、当時の水害の様子を、より多くの皆さんにお伝えし、危機意識を再認識することで今後の防災に役立てたいという思いからパネル展を開催します。

記

期 間：5月12日(日)～17日(金)9:00～17:00（17日は15:00まで）

5月12日(日)9:00～15:00は3Dシアターなど催し物があります。

展示場所：鳥取県立倉吉未来中心アトリウム

（倉吉市駄経寺町212-5倉吉パークスクエア内）

展示内容：①伊勢湾台風当時の被害写真

②経験者から聞いた被害の様子

③洪水と戦い続ける天神川の歴史

④現在ここにある危険

詳細は別紙のとおり

【主催】天神川流域会議

### 【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

倉吉河川国道事務所

TEL (0858) 26-6221 (代表)

副所長(河川)

菅野 秀治 (すがの ひではる)

【担当】調査設計第一課長

小島 亨 (こじま とおる)

### 【広報担当窓口】

調査設計第二課長

波戸 秀浩 (はと ひでひろ)

本資料は、倉吉河川国道事務所ホームページの「記者発表」でも公開しております。

倉吉河川国道事務所ホームページアドレス：<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

あれから**60**年  
昭和34年(1959年)台風第15号

天神川流域

# 伊勢湾台風の 爪痕

過去の災害に学び、  
未来の命と財産を守るために…

伊勢湾台風から60年、被災された皆さんの記憶も薄れていく中、  
当時の水害のようすを、より多くの皆さんにお伝えし、  
危機意識を再認識することで今後の防災に役立てたいという思いから、  
このパネル展を開催致します。

パネル展

入場  
無料

2019年

5月12日(日)~17日(金)

9:00~22:00 (最終日は15:00まで)

鳥取県立倉吉未来中心アトリウム

鳥取県倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内)

<展示内容> ●伊勢湾台風当時の被害写真 ●経験者から聞いた被害のようす  
●洪水と戦い続ける天神川の歴史 ●現在ここにある危険



主催・お問い合わせ先 **天神川流域会議**

鳥取県倉吉市福庭町1-18 国土交通省 倉吉河川国道事務所 調査設計第一課内 Tel.0858-26-6248 Fax.0858-26-8200  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/tenjin/>

## 別紙

・パネル展5月12日9:00~にあわせて以下の催しを開催します(12日のみ)。

1. 3Dシアターを上演します。



55型モニター



視聴している様子



(特定非営利法人土砂災害防止広報センターHP)

2. 浸水シミュレーション パソコンで浸水状況の想定映像を表示します。



3. 土石流説明用模型の実演を行います。



土石流対策模型

模型はイメージです。実際と異なることがあります。

(特定非営利法人土砂災害防止広報センターHP)